

## ．今後の展開

現在、河崎では街なみ環境整備事業への取組が始まっており、平成 17 年度以降に具体的な整備計画の策定が進められる予定であり、その中で景観形成ガイドラインについても本格的に検討することとなる。次年度に向けて今回の成果については、伊勢河崎まちづくり衆のホームページ上にて公開する。

今回の成果を踏まえて、景観形成ガイドラインの実現に向けての検討を補足することが大きな課題である。具体的には、河崎のまちづくり計画全体との整合性、景観形成要素の特徴を活かしたまちづくりストーリーづくり、景観形成要素の実現性（実現方法・実現主体・実現時期など）などについて継続して検討して具体像を明らかにしていくことである。

## ．活動のポイント

### （１）活動の人材

前述の通り、ワークショップの参加メンバーは河崎まちづくり協議会を通じて河崎地区内の 8 つの町内会からバランスよくメンバーを募集することに配慮している。他の歴史的町並みと同様に河崎地区においても住民間において景観まちづくりへの関心の程度には差があり、今後、1 人でも多くの住民の関心を高めていく上で今回参加したメンバーが各町内会で景観まちづくりの実現に対して建設的な役割を果たすことが期待される。

### （２）活動のネットワーク・支援

伊勢河崎商人館を拠点としたまちづくり活動には、河崎地区に関わりの深い団体以外にも三重県建築士会伊勢支部や三重大学、皇學館大学などの地元大学も関わってきている。今回も日頃のネットワークを活かして、ワークショップの企画運営に特に建築分野の専門知識が必要となることから、三重建築士会伊勢支部の会員と三重大学浅野研究室に参加を呼びかけ支援・協力を得ることが出来た。